

日本初戦引き分け



終盤、オランダに追い付く 勝ち点1、決勝Tへ前進

日本 2(20-20) 2オランダ

【ダラス共同】サッカーのワールドカップ(W杯)北中米3カ国大会は14日、ダラス競技場で1次リーグF組初戦が行われ、森保一監督が率いる日本は2-2で準優勝3度の強豪オランダと引き分け、3大会連続の決勝トーナメント進出に前進した。終盤のゴールで追い付き、貴重な勝ち点1を挙げた。

11日付の世界ランキング 同8位。通算成績は2分けで日本は18位、オランダは2敗となった。ベスト16が

最高成績の日本は、これまでW杯初戦で勝ち点を挙げた2002年日韓大会、10年南アフリカ大会、18年ロシア大会、22年カタール大会でいずれも1次リーグを突破している。

日本は20日午後10時(日本時間21日午後1時)にメキシコのモンテレイ競技場でチュニジアと、25日午後6時(同26日午前8時)には再びダラス競技場でスウェーデンと顔を合わせる。



後半、ヘディングシュートを放つ小川(19)。鎌田(15)に当たり同点ゴールとなる14日、米ダラス(時事)